



**問** 津市の学童保育のあるべき姿は

公設民営の学童保育の在り方は、税金を投入して設置した施設を民営側が公平・適正に運営することだと考えるが、学童保育の運営について、津市が定める基準である津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例以外のものを独自の基準として定め、児童の定員を制限することに決めた放課後児童クラブがあると聞いている。是正すべきと考えるがどうか。

**答** 子どもたちのために是正に向けてしっかりと取り組んでいく

市が算定した収容人数を大きく下回る独自基準を定めて、令和7年度の新入所児童を受け入れないという方針を打ち出した放課後児童クラブに対し、市の専用区画面積の考え方を通知するとともに、入所を希望する子どもたちが一人でも多く入所できるよう理解と協力を求める文書を送付した。

民営の放課後児童クラブは、一定の運営について自由にできるところはあるが、公設の施設を使用し、補助金の交付を受けて運営しているという前提に鑑みて、今回のことで子どもたちに支障が出ることは見過ごせないと考えている。子どもたちのためにしっかりと取り組みたい。

その他の質疑・質問

- 議案第109号 令和6年度津市一般会計補正予算
- 衛生費、商工費それぞれの減額の要因は
- 「年収103万円の壁」問題への対処について
- 窓口受付時間短縮への考えは
- 津市学童保育連絡協議会の運営について
- 今回の訪中の成果は
- 水道事業における不祥事について

学童保育の現場



**問** デマンド型交通の実証実験の現状と今後について問う

令和6年10月21日から、美杉地域にて、デマンド型交通の構築を目指した実証実験が実施されているが、なぜデマンド型交通なのか。また、土日にはイベントや観光で美杉地域を訪れる方がおり、交通手段としての需要があると考えますが、土日の運行を検討する余地はあるか。実証実験の現状と、今後について問う。

**答** 実証実験結果を分析し、本格運行に向けた検討を進めていく

定時定路線型である現行の津市コミュニティバスにおける諸課題を解決するため、本市では、運行ルートを定めず、予約に応じて所定のバス停や目的地間を最短経路で結び、おおむねの到着時刻をあらかじめ設定して運行するデマンド型交通の導入に向けた取り組みを進めている。

美杉地域での実証実験は、令和6年10月21日から12月13日までの約2か月間で、11月26日までの21日間の利用者数は、延べ56名であった。実証実験は平日の週4日運行であったが、その状況を分析し、土日の運行も含め、令和8年4月からの本格運行に向け、さらなる検討を進めていく。

その他の質疑・質問

- 県道一志美杉線について現在の状況は
- マイナ保険証について
- カーボンニュートラルの推進について

美杉地域で行われたデマンド型交通の実証実験

